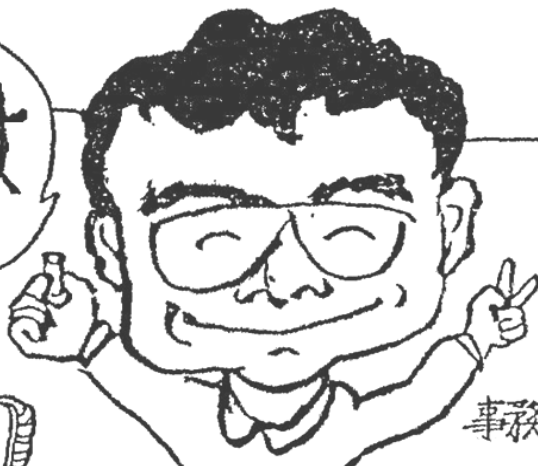


こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2022年11月13日 NO.1162



さら とみ ひこ

吉良富彦 です

新屋敷事務所 823-5878
事務所 薊野事務所 846-2046
県議会控室 823-9524

田内千鶴子さん生誕110周年 韓国木浦共生園での式典参加

●2016年、本県は韓国全羅南道（チョルラナムド）と姉妹交流協定を締結しています。そのきっかけは、全羅南道・木浦（モッポ）で孤児3千人を育て“木浦の母”“孤児の母”と言われ韓国政府から日本人初の大韓民国文化勲章国民賞を授与された田内千鶴子さんが高知市出身だったことからでした。



「韓国孤児の母」
田内 千鶴子さん

日本によって植民地とされた歴史的背景の下、厳しい反日感情がある中、日韓の友好親善に大きな役割を果たし田内さんは1968年に56歳で亡くなっています。

今回、木浦共生園

で開催される田内さんの生誕110周年記念式典への出席参加と、全羅南道知事や議長への表敬訪問を通じて

更なる日韓親善と経済観光分野での交流発展を期して知事以下40数名の訪問団に私も参加しました。

●10月28日、出国前、韓国は大変寒いだろうとの予想に反し、木浦は夏日のような好天に恵まれました。



およそ750人の出席で式典は盛大に開催されました。

式典へのメッセージで尹錫悦大統領は「激動の中でも、子どもたちを守るうとした田内さんの愛と献身は、日本と韓国の国民の心を動かした」と功績をたたえ「共生園」を運営する団体の代表で田内さんの長男の田内基さん(80)は「いまも田内千鶴子のことを覚えてくれているモッポ市民に感謝しています。こういう市民の心が、日本と韓国の交流の小さなきっかけになればと願います」と、さらなる日韓親善を望む挨拶に共感を覚えました。

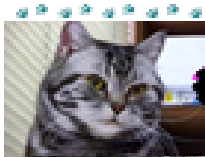
安重根義士記念館訪問

●今回の訪韓は日韓親善が目的でした。同行の高知県日韓親善協会西森名誉会長の強い要望もあり、訪韓した5人の県議のうち、私と石井県議、そして



で、高知県建設業協会川上専務理事と西森名誉会長とで、安重根義士記念館に、元国務総理で現記念館理事長の金滉植氏（右写真）を訪ねました。私たち日本人は、韓国を植民地化し、言葉をも奪ってきた過去の歴史的事実を認めることなくして、韓国の人々との真の信頼関係を築くことはできません。

キラリンにやんでも通信



金理事長は、「高知は安重根義士と深い関係がある。また、私は、全羅南道出身ですが田内千鶴子女士も高知出身」と高知との縁が深い事から話し始めた(続く)